

暮らしの コーディネート ～第 36 回

避難所生活をしらない選択 災害時も自宅で過ごすためには？

ペットは家族 避難も共に！

今回は1月17日の「防災とボランティアの日」にちなみ、住まいの防災対策について考えます。



ネットアンケートによると、ペットの防災対策をしている飼い主は21・6%、全くしていない人は42・9%という結果が出ており、決して意識が高いとはいえません。過去の震災では自宅に残したペットを心配して自宅に戻り災害に巻き込まれたケースも少なくなく、対策として環境省自然環境局が「人とペットの災害対策ガイドライン」を発信。ペットを連れた「同行避難」が推奨されています。しかし、避難所では動物が苦手な人、アレルギー体質の人への配慮が求められる、避難生活はペットにも飼い主にもストレスとな

る可能性があります。そこで着目されているのが在宅避難。ペットに対する防災という意味だけでなく、プライバシー保護や感染リスク対策などからも在宅避難を望む声が増えており、住み慣れた自宅で過ごす「安心感」が求められています。

在宅避難のための 備えとは？

「備え」といえば食料や防災グッズの用意、避難場所の確認が最重要と思いがちですが、家族を守り、自宅で生活続けることができる「住まいづくり」も災害への備えの一つと考えられます。例えば、家具・家電の転倒防止。ケガや避難経路を塞ぐ原因になりますので、壁面を活用

した作り付けの本棚やデスクを取り入れることも転倒対策として有効です。

備蓄に必要な「パントリー（食品庫）」は玄関とキッチン両方からアクセスできるウォークスルータイプにすると、日常的にも使いやすいアイテムです。

またライフラインの確保も重要なポイント。ヒートポンプ技術を使い電気と空気中の熱でお湯を沸かすエコキュートは、大きな貯湯タンクを備えていますので、防災の「備え」にもなります。